

所属・氏名（ 健康スポーツ学部 健康スポーツ学科 氏名：瀬川 洋 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書) 武道をたずねて - 武道教育 への活用 -	共著	2018年2月	大学教育出版	<p>著書全体の概要：武道が必修化され、学校教育における武道教育のあり方が問われている。本書では武道の教育的意義の解説と共に、より多くの武道の紹介とその精神・技術をそれぞれの専門の立場から紹介する。</p> <p>(総ページ数：207頁)</p> <p>(編著者 出口達也、瀬川洋、金ヒョン勇)</p> <p>担当部分の概要：柔道の教育的価値(2)</p> <p>(担当ページ：pp. 31～48)</p>
2 ジュニアアスリートサポート プログラム (JASP)	共著	2017年4月	株式会社保安企画、株式会社オール オンスポーツ	<p>近年中学、高校の運動部では、教員の減少や高齢化、競技経験のない顧問による指導が増加する一方、所属する生徒は高度化、専門家された正しい情報や的確な指導を望んでいる。JASPはICTを活用して、指導体制の支援や指導者の負担軽減、生徒へのスポーツ医・科学を活用したサポートや指導者が短時間かつ容易に専門的知識を習得できるサポートを実現する。</p> <p>担当部分の概要：柔道指導担当</p> <p><a href="https://jasp.jp/">https://jasp.jp/</a></p>
3 (報告・発表) 聴覚障がい柔道日本代表選 手の練習環境における障壁の 検討	共	2021年9月	日本武道学会第54 回大会	<p>デフリンピックおよび世界ろう者柔道選手権大会などの日本代表経験のあるトップアスリートを対象として、障壁となっている具体的な事柄を調査し、聴覚障がい者柔道競技特有のコーチング手法の構築と処方に有効である知見を得ることを目的とした。その結果、健常者とのギャップが検出され、今後の検討課題が明確にされた。</p> <p>担当部分の概要：データ収集、分析、結果、考察</p>
4 柔道の基本動作を活用した転 倒予防教室の実践報告	単	2021年12月	日本武道学会第54 回中四国支部大会	<p>地域在住高齢者に対して行われた転倒リスクに関する講義と柔道の基本動作を活用したダイナミックストレッチングを包括した健康づくり教室とその方法について発表した。</p>
5 柔道の基本動作を活用した転 倒予防教室の実施効果につ いて(その1)	単	2020年3月	日本コーチング学 会第31回大会	<p>地域在住高齢者に対して行った柔道の基本動作を活用した転倒予防運動について、その意義を検証するものとした。</p> <p>その結果、開眼片足立ちにおいて、トレーニングに記録上昇に有意な傾向が見られた。これらのことから柔道の動きを活用した運動が少なからず効果があることが示唆された。また、運動実施後のアンケートでも健康維持や爽快感などの項目で肯定的な意見が見られた。</p>

令和 4年 4月 1日 現在